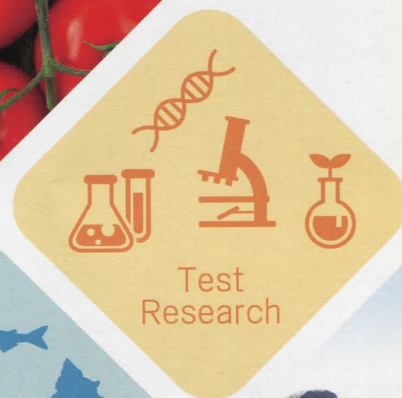


公益財団法人 東京都農林水産振興財団

Tokyo Development Foundation
for Agriculture, Forestry,
and Fisheries

2021事業案内



Test
Research



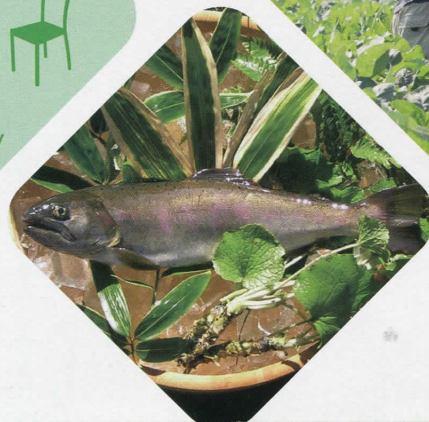
Fisheries



Forestry



Agriculture



公益財団法人 東京都農林水産振興財団について

設立の目的

当財団は、東京都内において、農林水産業の担い手の確保・育成、経営基盤の強化、森林整備、試験研究の推進と成果の還元、農林水産資源の拡大などを通じて、食と緑に関する都民生活の向上に貢献するとともに、環境と調和する農林水産業の振興を図ることを目的に設立された公益財団法人です。

経営目標(2021年度)

- 1 農林業の担い手育成と経営基盤の強化
- 2 多摩地域の森林循環の促進と木材利用の拡大
- 3 先端技術を活用し東京の農林業の収益性を高める試験研究の推進
- 4 高付加価値を生み出す畜産の振興と水産資源拡大への貢献
- 5 豊かな食と緑の情報発信と地産地消の推進
- 6 事業成果の公表並びに職員の主体的な力量と財団のプレゼンスの向上

事業体系



当財団は、東京の農林水産業を支援する事業部門と農林業の振興を支える試験研究部門から成り立っています。

ごあいさつ

(公財)東京都農林水産振興財団 理事長 **岩瀬 和春**

当財団は、豊かな食と緑に関する情報発信と地産地消を推進するとともに、農林業の担い手の確保・育成、木材利用の拡大と森林循環の促進、種畜・種苗の生産配付など様々な事業を実施しています。

東京の農林水産業の振興に向けて、2021年度は、

- ・コロナ禍における社会変化を見据え、新たな販路確保など「稼ぐ農業」の実現に向けた積極的な経営展開支援
 - ・組織改正による地産地消推進課の新設、GAP認証制度や食育活動の普及促進
 - ・青梅庁舎の再編整備による新畜舎の完成とトウキョウX(豚)の生産能力向上
 - ・林業における伐採・搬出技術者の育成を目的とした東京トレーニングフォレストの開設など、都・関係機関等との緊密な連携のもと、新たな取組を積極的に展開してまいります。
- 引き続き関係者各位、都民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



(公財)東京都農林水産振興財団 東京都農林総合研究センター 所長 **村上 ゆり子**

東京の農林業の振興を支えるため、東京型スマート農業等による高収益型生産技術の開発、高い競争力を有する新品種や新たな栽培技術を活用した東京オリジナル農産物の開発に取り組んでいます。また、SDGsに貢献する生産管理技術の開発にも取り組んでいます。

研究開発を効果的に進めるため、行政・普及機関、民間企業や研究開発法人、大学等との連携にも積極的に取り組んでいます。

皆様のご指導とご支援をよろしくお願いいたします。



概要

名称 公益財団法人東京都農林水産振興財団
 所在地 東京都立川市富士見町3丁目8-1
 評議員会 評議員14名
 代表者 理事長 岩瀬和春
 役員 理事7名 監事2名
 基本財産 1,187,480千円
 事業規模 6,199,706千円
 (令和3年4月1日現在)



組織図



沿革

平成 3(1991)年3月 (財)東京都農林水産業後継者育成財団と(社)東京都野菜価格安定資金協会とを発展的に解消し、本財団を設立
 平成 3(1991)年6月 農地保有合理化法人として指定される
 平成 6(1994)年4月 東京都有機農業堆肥センター事業を開始
 平成 8(1996)年4月 東京都青年農業者等育成センターに指定される
 平成10(1998)年4月 (財)東京都森林整備公社と統合、東京都林業労働力確保支援センター、東京都緑化推進委員会として指定される
 平成14(2002)年4月 栽培漁業センター事業が(財)東京都島しょ振興公社から移管、都行造林管理事業を都から受託
 平成15(2003)年4月 東京都肉用子牛価格安定基金協会として指定される
 平成16(2004)年4月 奥多摩さかな養殖センター事業を都から受託
 平成17(2005)年4月 農業試験場、畜産試験場、林業試験場を統合し、東京都農林総合研究センターを設置、都から試験研究事業を受託
 平成18(2006)年4月 東京都立食品技術センター事業を指定管理者として受託(令和3(2021)年3月 指定管理期間終了)
 平成22(2010)年4月 公益財団法人へ移行
 平成25(2013)年4月 チャレンジ農業支援センターを開設
 平成26(2014)年6月 多摩産材情報センターを開設
 平成30(2018)年11月 肉用牛肥育経営安定交付金制度における積立金管理者に指定される
 令和 2(2020)年4月 東京農業アカデミー八王子研修農場開設、スマート農業推進室開設
 令和 3(2021)年5月 東京トレーニングフォレスト開設

これから農業をはじめの方へ

これから就農する農家の後継者や、新規就農を希望する農家以外の方への就農相談窓口を開設しています。



就農相談の様子

新規就農者や農業後継者への支援

新規就農者に対する技術習得を目的としたセミナーを支援し、地域のリーダーを担う農業者を育成するセミナーを東京都と共催しています。

また、農林水産業の担い手を中心とする団体が地域の課題を自主的に解決する取組や講習会の開催にかかる活動費などを助成するとともに、その取組の結果を発表しています。



自主研究活動に取り組む後継者団体

都民とのふれあい

都民の皆さんに東京の農林水産業への理解を深めてもらうため、生産者と都民の交流活動への支援や、担い手と消費者が交流するセミナー等の開催を支援しています。



食と農セミナー

援農ボランティアの養成と活動支援

区市町村と協力して、農業に関心を持つ方々を対象に農作業の実習や講義を実施し、農業の担い手不足を補う援農ボランティアの養成を行っています。また、地域の枠を超えて活動する広域型の援農ボランティアの育成支援や登録・派遣を行っています。



広域援農ボランティア

都市農地の保全

指定後30年経過等により買取り申出された生産緑地を、区市が農的な利用を目的として購入し整備する際に、経費の一部を補助します。



農福連携のための福祉農園

農業経営を支える

都内で生産されたキャベツや島しょ地域特産のアシタバなど、市場出荷物の価格安定を図るとともに、肉用子牛の生産や肥育経営を支援しています。



神津島のアシタバ

新しい農業経営へのチャレンジを応援 (チャレンジ農業支援センター)

東京の強みを活かした魅力ある農業経営の展開を図るため、経営改善にチャレンジする意欲ある農業者等に対して、専門家を派遣してアドバイスをを行うほか、新しい販路を開拓するナビゲータの派遣や販売促進・商品開発等新たな取組に必要な経費の一部を助成しています。



専門家の助言で作成した贈答用箱と料理レシピ

東京農業アカデミー八王子研修農場

都内で就農を目指す方を対象として野菜の栽培技術や経営・販売ノウハウなど、「営農」に必要な技術と知識を講義やフィールドワークを通じて習得します。2年間の研修で「東京農業」を支えるプロ農家を育成しています。



栽培技術指導

都内産農林水産物の地産地消を推進

都内産農林水産物をPRするための情報発信やGAP農産物の流通促進・地産地消への取組を推進しています。

東京都GAPの推進

食品安全や環境に配慮した持続的な農業生産を推進するため「東京都GAP認証制度」を運営しています。あわせて、認証取得者と流通業者のマッチングを支援します。



食育推進活動への支援

健全な食生活や食育体験、地産地消の拡大に向けた環境整備等の食育活動を都内で行う民間団体に対してその経費を補助しています。

農林水産ウェブサイトの運営

東京の農林水産ウェブサイト「とうきょうの恵み TOKYO GROWN」を通じて、国内外からの旅行者や都民に向けて、東京の農林水産業や新鮮で安全・安心な都内産農林水産物の魅力を広く発信しています。



森林の整備・保全と多摩産材の利用拡大

森の事業課

東京の森林の保全と木を感じる暮らしを実現するため、森を整備し、活かす取組を進めています。

森林整備

都民との協働による森づくり

都民や自治体、企業等の協力を得て、森林所有者と協定を結んで森林整備を行っています。

- 二俣尾・武蔵野市民の森 ●奥多摩・武蔵野の森
- 奥多摩・昭島市民の森 ●航空電子グループの森

とうきょう林業サポート隊

東京の森林を整備するボランティアを募集し、伐採跡地等において、植栽、下刈、枝打ち等の活動を行っています(毎週水・土曜日)。



とうきょう林業サポート隊

分収林事業

森林所有者と契約を結んで、約200haの森林整備を行っています。

都行造林

東京都から多摩地域の約800haの森林を受託し、その管理を行っています。



都行造林

森で働く人への支援

(林業労働力確保支援センター)

東京都から指定を受け、林業技術者の育成研修や林業事業者の確保・体制整備に取り組むとともに、労働安全向上や雇用改善への支援を行っています。

都民と森林とのふれあい促進

都民が森林に親しみ、都民に森林の役割を理解してもらうため、森林浴登山や森林ふれあい教室などのイベントを開催しています。



森林浴登山

多摩産材の利用拡大

にぎわい施設で目立つ多摩産材推進事業

より多くの都民に対して多摩産材をPRするため、駅や大規模商業施設等の不特定多数の都民が訪れる一定規模以上の施設において、民間事業者が壁や床の木質化、什器などに多摩産材を活用した場合に、その経費を補助しています。

木の街並み創出事業

多摩産材等の普及と需要拡大を図るため、民間施設(オフィスビルや商業施設等)において、都民の目に触れ接することができる建築物の外壁や外構に国産木材(うち多摩産材を3割以上)を使用する場合に、その経費を補助しています。

中・大規模建築物の木造木質化設計支援事業

中・大規模の木造木質化建築物の建築を促進するため、民間建築物(オフィスビルや商業施設等)の木造・木質化の設計において、多摩産材をはじめとする国産木材を一定量活用する場合に、その設計費を補助しています。

国産木材の魅力発信拠点MOCTION

新宿パークタワー5階OZONEにて、全国各地と連携して国産木材の魅力を発信する拠点「MOCTION(モクション)」を運営しています。ショールームでは多摩産材を使った新たなオフィス空間と国産木材の展示スペースを設置し、木材の大消費地である東京でのさらなる木材利用の拡大を図っています。

多摩産材情報センター

東京の木 多摩産材に関する情報発信及び利用者と供給者のマッチング業務を行っています。また、多摩産材利用拡大フェアを年1回開催しています。



参宮橋駅



MOCTION(モクション)

多摩産材情報センター
Tama-sanji Information Center



花粉対策事業

花粉対策室・花粉の少ない森づくり運動

花粉飛散量を削減するとともに、多摩産材の安定供給を図っています。

森林循環促進事業(主伐事業)

花粉を多く発生するスギ・ヒノキ林を伐採し、花粉の少ないスギなどを植栽することで、花粉の少ない森づくりを進めるとともに、多摩産材の安定供給、東京の林業の活性化を図っています。

また、環境に配慮した持続可能な森林経営を実施するため、国際森林認証を取得しています。財団が管理する森林について一般社団法人緑の循環認証会議(SGEC)によるFM認証を、貯木場についてCoC認証を取得し、毎年第三者機関による審査を受け、認証を維持しています。



主伐地

都民・企業等と進める花粉の少ない森づくり

都民・企業・団体からの支援により、「花粉の少ない森づくり募金」「企業の森」「森づくり支援倶楽部」の3つを事業の柱として「花粉の少ない森づくり運動」を展開しています。

また、この取り組みをPRするため、YouTubeによる森に関する動画配信や情報誌の発行、植樹イベントの開催などを実施しています。



植樹風景(YouTube動画)



畜産振興と水産資源拡大

事業課

東京の農林水産資源の安定供給を通じて、地域の生産現場と暮らしを支え、東京の畜産・水産業の振興に貢献しています。

青梅畜産センター

青梅畜産センターは、東京ブランド畜産物である「トウキョウX」、「東京しゃも」及び「東京うこっけい」の系統を維持し、種畜やひなを生産者に配付する事業を行っています。なかでも、系統豚「トウキョウX」の知名度は非常に高く、その肉は「TOKYO X」のブランド名で販売され、都内有名百貨店などで好評を得ています。

青梅畜産センターでは、施設の老朽化のため豚舎・鶏舎の再編整備を行いました。令和3年度より新施設を稼働し、一層の東京の畜産振興を図っていきます。



トウキョウX(エックス)

有機農業堆肥センター

有機農業堆肥センターは、環境と調和した環境保全型農業を推進するため、「土作り」に不可欠な優良堆肥を生産するモデルプラントとして設置されました。家畜ふんと剪定枝チップを混合した完熟堆肥を、生産者および一般都民の皆様へ販売しています。また、令和元年度からは、東京都工コ農産物認証生産者に対する優先販売枠を設けています。完成した堆肥は、定期的に成分分析を行うほか、堆肥中の残留農薬に関する試験を実施し、品質確保を図っています。



ふるいによる夾雑物の除去
きょうごつ

栽培漁業センター

栽培漁業センターは、栽培漁業(人工的に生産した卵や稚魚を自然界に放流し、成長後に獲る漁業)の中核基地としてサザエ・アワビなどの種苗(稚貝)の生産・配付を行っています。島しょ地域における水産資源の維持増大を図り、地域の基幹産業である漁業の発展と都民に新鮮な魚介類を安定的に提供することを目指しています。また、種苗生産の技術改良に関する試験研究などにも取り組んでいます。



トコブシ稚貝の飼育水槽

奥多摩さかな養殖センター

奥多摩さかな養殖センターでは、ニジマス・ヤマメ・奥多摩やまめ・イワナを養殖し、種苗(卵や稚魚)を生産して、河川漁協や養殖業者に配付しています。配付された種苗は河川に放流されるほか、養殖業者で大きく育てられて民宿や飲食店などで提供されています。当センターでは、入川飼育池と海沢飼育池の2か所で、稚魚の飼育と配付、親魚の養成と採卵を分担して行っています。



奥多摩やまめ(全長50~60cm:通常のやまめの約2倍)

緑の募金・緑化推進

森の事業課・農業支援課

緑の募金・緑化推進

東京都内において「緑の募金」活動を行い、区市町村・ボランティア団体・学校等と連携し、募金活動による森林整備や都市緑化、森と緑に関するイベント出展等を通じて緑化活動の普及啓発を推進しています。



緑化イベント出展



森林整備活動



花と緑の広場

街の緑を育てる

東京を緑豊かな都市とするため、市街化区域内の農地で緑化用苗木を生産しています。これらの苗木を、公共用の植栽のために東京都や区市町村に供給しているほか、イベント等で都民配布しています。



ツツジ



都民への苗木配布



東京における農林業分野を担う公的試験研究機関として、行政・普及機関等と密接に連携しつつ、近年の社会環境の変化と都民の幅広いニーズに対応した試験研究・技術支援業務に取り組んでいます。

現在、重点的に取り組む研究課題として、(1)東京型スマート農業等による高収益型生産技術の開発、(2)高い競争力を有する東京オリジナル農産物の開発、(3)SDGsに貢献する生産管理技術の開発を掲げています。

研究企画室 (立川庁舎)

農林総合センターの総合企画、管理運営を所管し、産学公連携による分野横断的共同研究の推進や外部資金の獲得、都民や事業者に向けた研究成果の積極的公表、農業後継者への技術研修などの業務を行っています。



農業後継者に向けた農業技術研修



スマート農業推進室 (立川庁舎)

東京における「稼ぐ農業」の実現に向け、民間企業や大学等の多様なセクターと連携し、ICTやAI等の先進技術を活用した小規模でも収益性の高い東京型スマート農業の技術開発に取り組んでいます。



東京フューチャーアグリシステム®を活用したイチゴ栽培試験

園芸技術科 (立川庁舎)

野菜、果樹、花き、バイオテクノロジー等の園芸分野を担い、高品質・高付加価値な東京オリジナル品種の育成や、生産性や品質向上に向けた技術の開発などに取り組んでいます。



切り花用パルディア「東京スター」3品種 (令和元年8月30日 品種登録出願公表)

生産環境科 (立川庁舎)

農作物の生産環境分野を担い、農産物の安全性確保技術や病害虫総合管理技術(IPM)、環境負荷の少ない土壌総合管理技術、農作物の生産環境制御技術の開発などに取り組んでいます。



土壌成分の分析

畜産技術科 (青梅庁舎)

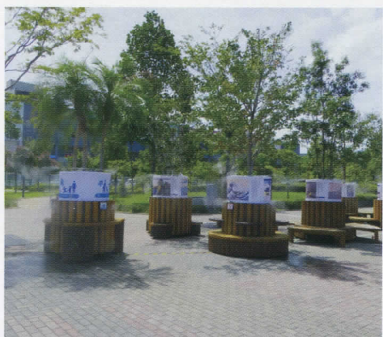
牛、豚、鶏等の畜産分野を担い、高品質で安全な東京ブランド畜産物の開発や維持改良、畜産の生産性向上技術、都市における畜産環境問題解決のための技術開発などに取り組んでいます。



牛卵巣の超音波画像の確認

緑化森林科 (立川庁舎)

緑化及び森林分野を担い、様々な都市空間における緑化技術、東京を彩る樹種の選定と生産技術、森林産業の育成や豊かな森づくりに向けた技術の開発などに取り組んでいます。



動かせる緑陰ベンチ(東京プロムナード公園)

江戸川分場

東京の東部地域における園芸分野を担い、高度集約型園芸技術の開発や、特産園芸作物における生産性・商品性の向上のための技術開発と品種の選定・導入などに取り組んでいます。



亀戸ダイコン(江戸東京野菜)の栽培試験



■ 事業所一覧

立川庁舎	青梅庁舎	東京都青梅合同庁舎	農林総合研究センター 江戸川分場
 <p>至青梅 西立川駅 JR青梅線 至立川</p> <p>コンビニ ● 南口 ● グリーン ● 調剤薬局 ● 中華料理店 ● パル・カフェ ● ラーメン店 ● 富士見橋 ● 産業サポートセンター TAMA ● 奥多摩街道 ● 農業試験場前 ● 滝口橋 ● 新奥多摩街道</p>	 <p>至青梅 青梅街道 ● 平松北 ● 青梅新町 ● レストラン ● 東京都立誠明学園 ● 末広二丁目西 ● コンビニ ● 東口 1番乗り場 ● 小作駅 JR青梅線 至立川</p>	 <p>北口 河辺駅 JR青梅線 至立川</p> <p>南口 ● 河辺小学校 ● 奥多摩街道 ● コンビニ ● 牛井店 ● ファミリーレストラン ● 自動車販売店</p>	 <p>至新宿 新小岩駅 JR総武線 至千葉</p> <p>南口 2番乗り場 ● 鹿骨新橋 ● 鹿本橋 ● 農業試験場 ● 環七通り ● 区役所 ● 大杉橋 ● 首都高速7号線 一之江入口</p>
<p>042-528-0505 〒190-0013 立川市富士見町3-8-1</p> <p>アクセス JR青梅線「西立川」駅南口徒歩7分 JR中央線「立川」駅南口より西武バス立川駅北口行き10分「農業試験場前」下車すぐ</p>	<p>0428-31-2171 〒198-0024 青梅市新町6-7-1</p> <p>アクセス JR青梅線「小作」駅東口徒歩25分 西東京バス三ツ原循環西廻りで10分「平松北」下車徒歩3分</p>	<p>0428-20-8134 〒198-0036 青梅市河辺町6-4-1</p> <p>アクセス JR青梅線「河辺」駅南口徒歩10分</p>	<p>03-3679-1458 〒133-0073 江戸川区鹿骨1-15-22</p> <p>アクセス JR総武線「新小岩」駅南口より京成バス(2番)江戸川スポーツランドまたは瑞江行きで15分「農業試験場」下車徒歩5分</p>

● 東京農業アカデミー八王子研修農場

〒192-0034 八王子市大谷町1013 **042-649-3444**

● 栽培漁業センター

〒100-0101 大島町元町字和泉 99-5 **04992-2-3461**

● 奥多摩さかな養殖センター

[入川飼育池] 〒198-0105 奥多摩町小丹波 720 **0428-85-2028**
 [海沢飼育池] 〒198-0213 奥多摩町海沢 53 **0428-83-2149**

● 多摩産材情報センター

〒198-0036 青梅市河辺町6-4-1 (東京都青梅合同庁舎内) **0428-20-1181**

■ 事業公式サイト

 <p>TOKYO GROWN https://tokyogrown.jp</p> <p>体験レポートや特集記事など、東京の農林水産業の現在をタイムリーに発信します。東京産食材が食べられるお店、楽しめるスポットなど、東京の食や自然の魅力をお伝えします。</p> 	 <p>FORESTRY SUPPORT</p> <p>どうきょう林業サポート隊 https://ringyou-support.tokyo</p> <p>ボランティアとして、多摩地域の森林で植栽や下刈り等の森林作業をすることで森づくりをサポートしよう!活動の様子や参加申込みはこちらからご覧ください。</p> 
 <p>花粉の少ない森づくり運動 https://moridukuri.tokyo</p> <p>「花粉の少ない森づくり運動」に関する詳しい情報や各種イベント情報、企業の森での活動の様子などを随時更新しています。</p> 	 <p>どうきょう 援農 ボランティア</p> <p>どうきょう援農ボランティア https://agrivolunteer-tokyo.jp</p> <p>援農ボランティアに参加しよう! 東京都内で参加できる援農ボランティアの最新情報をお届けします。</p> 
 <p>東京農業アカデミー https://www.nogyoacademy.tokyo/</p> <p>東京農業の新たな担い手を育成するため、都内で就農を目指す方を対象とした研修施設です。ここでは農業全般に関わる座学研修から、就農に結び付く実践的な実習研修を行います。</p> 	 <p>MOCTION https://moction.jp/</p> <p>国産木材を活かす繋げる</p> <p>さあ!あなたもMOCTIONははじめよう! MOCTION は、国産木材活用やオフィス木質化に興味のある方々が「活かす繋げる」活動の場です。</p> 

